

白杵市 施策評価シート
(令和2年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	産業促進課	佐藤 一彦	2260

コード	IV-10-16	施策名	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化
施策の方針	社会経済を潤す		
まちづくりの方針	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)		
5年後のめざす姿	武家屋敷や町家、寺院などが立ち並ぶ商業と観光の中心である中心市街地の活性化が図られており、商店街、まちづくり会社、行政等が連携した取組を進めまちなか賑わいの創出及び商業経営基盤の強化をめざします。		
施策の内容	各商店街組織や経済団体、まちづくり会社と連携しながら、空き店舗対策事業を軸として商業経営基盤の強化を行うとともに、サーラ・デ・うすきを核とした賑わい創出事業や文化・芸術事業により中心市街地の賑わい創出を図ります。		

<指標>

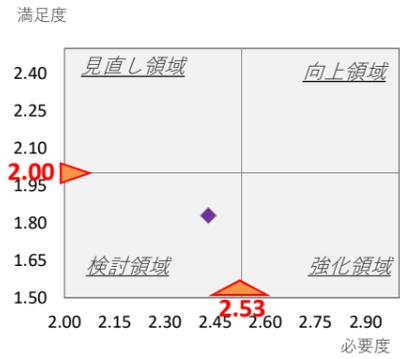
新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
中心市街地の空き店舗の活用数(白杵地域)【累計】	白杵地域中心市街地の空き店舗を活用した数	目標	店舗数	25	28	31	33	35		
			実績	22	25					
			達成率		100%					
中心市街地の空き店舗の活用数(野津地域)【累計】	野津地域中心市街地の空き店舗を活用した数	目標	店舗数	5	6	6	7	8		
			実績	5	5					
			達成率		100%					
		目標	店舗数							
			実績							
			達成率							
		目標	店舗数							
			実績							
			達成率							
		目標	店舗数							
			実績							
			達成率							
		目標	店舗数							
			実績							
			達成率							
		目標	店舗数							
			実績							
			達成率							
		目標	店舗数							
			実績							
			達成率							

指標の分析

令和元年度に空き店舗バンクを設置し、空き店舗情報の把握と整理、また活用希望者へ情報提供とマッチングを進めており、空き店舗活用数は伸びています。野津地域では活用が少ないですが、活用希望者の発掘と情報とのマッチングを行えば目標達成に近づきます。

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果(R2調査)	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R2調査)	検討領域	2.43	1.83
市民意識調査結果分析	<p>令和2年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに低く、「検討領域」に位置しており、施策や事業の内容について再考の余地があります。</p> <p>中心市街地の活性化や商店街の賑わいに関して、市民生活が身近なものではない状況となってきたと思われる。中心市街地の活性化の重要性を認識いただくよう、意識の醸成を図っていく必要があります。</p>		



<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題

白杵地域では、旧まるしょく屋をはじめ多くの空き店舗があり、特に中心市街地のメインストリートである八町大路では今後も更に増えていくことが予想されます。野津地域も同様の状況であり、商店街組織や商工団体等と連携し、空き店舗バンクの登録推進や空き店舗等活用促進事業のPR等により、中心市街地活性化対策の強化が必要です。

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R1年度実績	R2年度実績	R3年度見込み			
1	白杵市空き店舗等活用促進事業補助金	産業促進課	○	1,620	1,800	2,900	継続	○	
2	サーラ・デ・うすき管理・運営事業	産業促進課	○	23,858	24,954	27,145	継続	○	
3	商店街活性化事業補助金	産業促進課	○	1,200	1,200	1,200	-	○	
4	中心市街地活性化事業補助金	産業促進課	○	6,211	5,656	6,211	-	○	
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				32,889	33,610	37,456			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	課長評価
概ね順調 空き店舗等総合支援事業等により魅力ある商店街づくりを行っていきます。また、サーラ・デ・うすきを核とした中心市街地活性化を図っていきます。	目標を達するため、現状維持とする

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

内部評価	目標を達するため、現状維持とする	全ての指標で目標を達成しており、継続した取り組みを行う施策であるため。
------	------------------	-------------------------------------

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
商店街の空き店舗を活用して出店する際の情報をよりスムーズに得ることができるような窓口体制を作り、借りたい人がアプローチしやすい状況づくりに努めてほしい。	維持

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

庁内との関係課や関係団体等との情報連携がよりスムーズになるよう努め、また、情報を得た場合にすぐ動けるような体制づくりを行いたい。